

国鉄通信

日本国有鉄道広報部発行の広報誌。
国鉄事業の建設計画から乗務員の仕事内容
までを国民に伝えた。



地下鉄

帝都高速度交通営団広報課の
編集・発行による社内報。
事業計画、交通量調査から、
職員の発表記事まで、地下鉄
全般を包括的に理解できる。

かなえの鉄道集成は、広報媒体を通して時代を広範囲に見つめ直します。
異なる数誌から得られるわかりやすく、等身大ともいえるの情報は、今まで
にない鉄道研究資料と言えます。

第1回配本

「国鉄通信」1959年3月5日号～1960年6月2日号（欠号あり）
「地下鉄」1955年5月号～1960年12月号

■電子書籍

本体価格 140,800円＋税 ISBN:978-4-86759-429-2

■印刷書籍

本体価格 150,000円＋税 ISBN:978-4-86759-447-6

第2回配本

「国鉄通信」1960年7月1日号～1961年9月11日号（欠号あり）
「地下鉄」1961年1月号～1964年7月号

■電子書籍

本体価格 140,800円＋税 ISBN:978-4-86759-430-8

■印刷書籍

本体価格 150,000円＋税 ISBN:978-4-86759-448-3

解説：老川 慶喜（立教大学名誉教授）

本紙の試読は、刊行と同時に閲覧が出来ます！

試読サイト：<https://kanae-ebook-0303.actibookone.com/>



国鉄・地下鉄編

2 鉄道雑誌集成

日本の鉄道を広報する雑誌とデータを読み取る書籍の復刻により、
高度成長期の日本を俯瞰的に読み取る貴重な資料として刊行！
電子書籍ならではの便利なしおりと用語検索も充実。

本書を推薦いたします (敬称略)

高嶋 修一 青山学院大学 経済学部 教授

戦後鉄道史研究はこれからです

日本の鉄道史研究は盛んですが、戦後の、とりわけ日本国有鉄道や営団地下鉄といった大規模な事業者のことについては、意外なほど解明が進んでいません。

歴史分析の対象とするにはそれなりの時間が必要なためでもあります。史料が入手しづらかったことも一因といえます。

『国鉄通信』や『地下鉄』のような広報媒体は、多くの人の目に触れることを前提にしていたから、ごく限られた人だけが知り得た秘密などを窺うことはできません。

しかし、逆に言えば当時は広範囲の人々に知られていながら現在となっては忘れられてしまった事柄や思想などに触れることができます。

そうやって「時代の空気」を再発見し、現在の視点から相対化することは、歴史研究の大切な役割です。こうした史料が研究者から実務者、愛好者に至るまで多くの人々によって読み込まれることで、これから戦後鉄道史研究がますます進むことを願ってやみません。



鉄道雑誌集成 1 国鉄・地下鉄編

		第1回配本	第2回配本
		電子書籍：ISBN978-4-86759-181-9 / 印刷書籍：ISBN978-4-86759-363-9	電子書籍：ISBN978-4-86759-182-6 / 印刷書籍：ISBN978-4-86759-364-6
電子書籍	R レールウェイ	1965年1月号～1965年12月号	1966年1月号～1966年12月号
	数字で見た国鉄	1953年号～1960年号	1961年号～1967年号
	地下鉄	1965年新年号～1965年12月号	1966年新年号～1966年12月号
	メトロニュース	1960年4月10日号～1964年8月25日号	1964年11月25日号～1967年12月12日号
印刷書籍	R レールウェイ	1965年1月号～1965年12月号	1966年1月号～1966年12月号
	数字で見た国鉄	1953年号～1962年号	1963年号～1967年号
	地下鉄	1965年新年号～1965年12月号	1966年新年号～1966年12月号
	メトロニュース	—	1960年4月10日号～1967年12月12日号

※印刷書籍のメトロニュースは第2回配本にのみ収録

第1回配本・第2回配本ともに 電子書籍：本体価格 105,600円 + 税 / 印刷書籍：本体価格 150,000円 + 税

お奨めします

経済史、産業史、交通史、都市計画、社会学、地域研究、観光学の研究者、大学図書館、公共図書館 など

株式会社かなえ

〒170-0014 東京都豊島区池袋1-10-8
TEL : 03-3982-6633 FAX : 03-6789-5706
Email : info@kanae-book.co.jp
URL : https://kanae-book.co.jp

取扱店

